

学(二、37・12) 9

「万葉修辭の論」(一)―俊頼における―

山口 正 解釈(九四、38・4) 3

七里政要 書入本万葉集に見える真淵説二・

三 河野頼人 万葉(四、38・4) 14

「万葉考」卷七以下に見られる本文批評 河野

頼人 万葉(四、38・4) 14

「万葉修辭の論」(二)―古点期から次点期

へ―山口 正 解釈(九六、38・5) 3

「万葉修辭の論」(三)―清輔における―

山口 正 解釈(九六、38・6) 3

「万葉修辭の論」(四)―顯昭における―

山口 正 解釈(九七、38・7) 3

風雅集中の万葉歌統考 渋谷虎雄 万葉(四、

38・7) 8

谷川士清と万葉集 印田巨鳥 美夫君志(六、

38・6) 7

「万葉修辭の論」(五)―俊成における―

山口 正 解釈(九八、38・8) 3

「万葉修辭の論」(六)―上竟における―

山口 正 解釈(九九、38・9) 2

万葉修辭研究史における「声調」の問題

山口 正 茨城大学文学部紀要(四、38・

12) 13

猪諸成の万葉考増訂の方法をめぐって 河野

頼人 万葉(五、39・1) 12

天田愚庵 中野菊夫 国文学(九四、39・3)

6

平賀元義と橘曙覧 松村英一 国文学(九四、

39・3) 5

「万葉集古義」と「巧者學術」―封建規範の矛

盾とその自覚過程― 鴻巣隼雄 上代文学

(二、39・6) 6

「山田守醉書入古万葉集」について 石井庄司

上代文学(二、39・6) 5

万葉歌風と玉葉歌風 久松潜一 美夫君志

(七、39・6) 4

「日下の直越」説に対する疑点数條 奥野健治

万葉(五、39・7) 13

茂吉における赤人研究とその意義(上) 山根

巴 国文学攷(三、39・11) 13

九 雑

戦後における国文学界展望(総説および古代

文学) 近藤忠義 文学(五三、22・12)

15

万葉集研究の課題―最近の研究に關聯して―

久松潜一 文学(三三、27・7) 8

飛鳥寺の万葉歌碑 辰巳利文 万葉集大成月

報(三、28・6) 1

一人の普通人と万葉集 なかのしげはる

万葉集大成月報(三、28・6) 3

万葉遊歩 神西 清 万葉集大成月報(二、

28・6) 3

吉野の万葉歌碑 武田祐吉 万葉集大成月報

(二、28・6) 1

飛鳥寺の万葉歌碑 辰巳憲之 万葉集大成月

報(三、28・6) 1

無題 無常清佐 万葉集大成月報(四、28・8)

4

野口の万葉歌碑 市山盛雄 万葉集大成月報

(六、28・10) 1

折口先生と万葉学 高崎正秀 万葉集大成月

報(六、28・10) 4

御物拝観記 小島憲之 万葉集大成月報(七、

28・11) 2

天理図書館蔵 万葉集関係書籍展覧会目録

中村幸彦 万葉(三、29・1) 7

万葉画集の思い出 井上三綱 万葉集大成月

報(九、29・2) 2

和歌研究資料要覧 木俣 修 解釈と鑑賞

(一九四、29・4) 10

幸福な万葉学を更に幸福に 折口信夫 上代

文学(四、29・7)

万葉集研究文獻目録(上) 徳武・高橋 文学

研究(日本文学研究会)(六、29・10) 5

万葉集研究文獻目録(下) 高橋・徳武 文学

研究(日本文学研究会)(七、30・2) 7

万葉集の放送 片桐顯智 万葉集大成月報

一五、30・2) 3

万葉植物林と白鳳仏 藤森朋夫 万葉集大成

月報(六、30・3) 4

学界展望—上代— 小高 解釈と鑑賞(二〇〇)

四、30・4) 1

学界展望—上代— 三好 解釈と鑑賞(二〇〇)

五、30・5) 1

学界展望—上代— 秋山 解釈と鑑賞(二〇〇)

七、30・7) 2

学界展望—上代— 板坂 解釈と鑑賞(二〇〇)

八、30・8) 11

大和三山にのぼる—茂吉先生とともに—

藤森朋夫 万葉集大成月報(六、30・8) 3

学界展望—上代— 小山 解釈と鑑賞(二〇〇)

九、30・9) 2

大成版総索引完結に際し 正宗敦夫 万葉集

大成月報(三〇、30・9) 1

学界展望—上代— 築島 解釈と鑑賞(二〇〇)

二、30・11) 2

学界展望—上代— 尾藤 解釈と鑑賞(二〇〇)

三、30・12) 2

万葉集教材の取扱いについて—万葉集教授上の

の問題点— 海野哲次郎 国文学(二、31・

9) 4

万葉集の取扱い上の問題点—万葉集教授上の

問題点— 増渕恒吉 国文学(二、31・9)

4

万葉集を研究する人のために 保坂弘司

国文学(二、31・9) 4

最近の万葉研究展望—学界展望— 大久保

正 解釈と鑑賞(三二〇、31・10) 5

万葉集私注卷十七を讀む 広野三郎 久木

(二、31・11) 2

万葉歌とその取扱い方(教材研究) 広多建

次 国文学(一、31・12) 3

近代歌人による万葉集研究の文献目録 谷沢

永一 関西大学学報(六六、二九号抜刷、32

2・3) 10

学界展望(上代) 大久保 正 解釈と鑑賞

(三三三、32・3) 3

学界展望(上代) 大久保 正 解釈と鑑賞

(三三六、32・6) 3

学界展望(上代) 大久保 正 解釈と鑑賞

(三三九、32・9) 3

学界展望(上代) 吉永 登 解釈と鑑賞(三三

一、33・1) 2

万葉集研究文献総覧—単行本の部— 藤森朋

夫 国文学(三二、33・1) 28

学界展望(上代) 吉永 登 解釈と鑑賞(三三

四、33・4) 2

学界展望(上代) 吉永 登 解釈と鑑賞(三三

七、33・7) 2

万葉研究の諸問題 五味智英 学苑(三三、

33・8) 11

学界展望—上代— 吉永 登 解釈と鑑賞

(三三六、33・9) 3

万葉集研究の現段階 扇畑忠雄 国文学(四

一、34・1) 5

万葉集研究文献総覧—雑誌の部— 藤森朋夫

編 国文学(四一、34・1) 23

万葉集の研究テーマ 中西 進 国文学(四

一、34・1) 4

万葉集を初めて見たころ 窪田空穂 国文学

(四二、34・1) 2

万葉随想—いのち生きて— 佐々木信綱

国文学(四一、34・1) 2

万葉随想—注釈の筆を執りつつ— 沢瀉久孝

国文学(四一、34・1) 1

昭和三三年度国語国文学界の展望—上代文学

— 小島憲之 文学・語学(二、34・3) 6

本文整理—本文のきめ方—特集万葉集研究の

新しい方法と基準— 大野 晋 解釈と鑑

賞(四六、34・5) 11

訓話批判—訓釈のきめ方—特集万葉集研究の

新しい方法と基準— 木下正俊 解釈と鑑

賞(四六、34・5) 9

隣接諸学による万葉集の批判的処置—国文学

者の死角(地理と風土)—特集万葉集研究

の新しい方法と基準— 犬養 孝 解釈と

鑑賞(四六、34・5) 11

隣接諸学による万葉集の批判的処置・国文学者の死角(宗教と民俗)―特集万葉集研究の新しい方法と基準―池田弥三郎 解和と鑑賞(二四・六、34・5) 9

隣接諸学による万葉集の批判的処置・国文学者の死角(社会と環境)―特集万葉集研究の新しい方法と基準―上田正昭 解和と鑑賞(二四・六、34・5) 9

隣接諸学による万葉集の批判的処置・国文学者の死角(国文学)―特集万葉集研究の新しい方法と基準―田辺幸雄 解和と鑑賞(二四・六、34・5) 10

作家論の整理・すすめ方―特集万葉集研究の新しい方法と基準―五味保義 解和と鑑賞(二四・六、34・5) 10

作品論II 作品論の整理・すすめ方―特集万葉集研究の新しい方法と基準―藤森朋夫 解和と鑑賞(二四・六、34・5) 6

万葉集にはどんなテーマがあるか―卒業論文を書く人のために―田辺幸雄 解和と鑑賞(二四・六、34・5) 1

飛鳥瞥見(眼で見る文学史二) 長谷章久・五味智英 解和と鑑賞(二四・六、34・5) 5

飛鳥から藤原京へ(眼で見る文学史三) 長谷章久・五味智英 解和と鑑賞(二四・七、34・6) 5

平城京(一)(眼で見る文学史四) 長谷章久・

五味智英 解和と鑑賞(二四・八、34・7) 4

平城京(二)(眼で見る文学史五) 長谷章久・五味智英 解和と鑑賞(二四・九、34・8) 4

学界展望―上代―中西 進 解和と鑑賞(二四・一〇、34・9) 5

万葉の背景(眼で見る文学史六) 長谷章久・五味智英 解和と鑑賞(二四・一〇、34・9) 4

万葉の背景(眼で見る文学史七) 長谷章久・犬養 孝 解和と鑑賞(二四・二、34・10) 4

万葉の背景(眼で見る文学史八) 長谷章久・犬養 孝 解和と鑑賞(二四・三、34・11) 4

かかる我が手を 杉浦栄―美夫君志(一、34・12) 2

ぬえ 五味智英 美夫君志(一、34・12) 1

波疑乃爾波 青木禮子 美夫君志(一、34・12) 2

2 万葉五十年 高木市之助 美夫君志(一、34・12) 4

万葉証本と親行本 尾山篤二郎 美夫君志(一、34・12) 2

万葉と象徴 片山五郎 美夫君志(一、34・12) 1

1 学界展望―上代―中西 進 解和と鑑賞(二四・一、35・1) 3

昭和三四年度国語国文学界の展望―上代文学― 太田善麿 文学・語学(二五、35・3) 5

学界展望―上代―中西 進 解和と鑑賞(二五・五、35・4) 4

万葉集のこと 松島宣慶 上代文学研究会会報(東洋大学上代文学研究会(六、35・6) 1

1 学界展望―上代―中西 進 解和と鑑賞(二五・六、35・7) 5

万葉岡目八目 倉野憲司 美夫君志(二、35・9) 6

万葉集「こてたずくもか」考(資料研究) 山田清致 国文学(二五・三、35・10) 2

学界展望―上代―中西 進 解和と鑑賞(二五・三、35・11) 4

万葉夜話 其一 森本治吉 白路(二五・二、35・11) 4

2 日本文学ざっくばらん(万葉集)―解説―小島政二郎等 解和と鑑賞(二五・四、35・12) 2

日本文学ざっくばらん(万葉集)―想像―三好達治 解和と鑑賞(二五・四、35・12) 1

日本文学ざっくばらん(万葉集)―率直に平明に答える―福原隣太郎 解和と鑑賞(二五・四、35・12) 2

日本文学ざっくばらん(万葉集)―譬喩と洒落と―西脇順三郎 解和と鑑賞(二五・四、35・12) 1

日本文学ざっくばらん(万葉集)―「万葉集」

- 中第一の歌— 小島政二郎 解説と鑑賞(三三・三四、35・12) 2
- 日本文学ざっくばらん(万葉集) — 詩精神の源泉— 西脇順三郎 解説と鑑賞(二六・二、36・1) 1
- 日本文学ざっくばらん(万葉集) — マーヴェルにくらべて— 福原麟太郎 解説と鑑賞(二六・一、36・1) 2
- 日本文学ざっくばらん(万葉集) — 解説— 小島政二郎他 解説と鑑賞(二六・一、36・1) 2
- 日本文学ざっくばらん(万葉集) — 無用言— 三好達治 解説と鑑賞(二六・一、36・1) 1
- 日本文学ざっくばらん(万葉集) — 我が愛する家持— 中村真一郎 解説と鑑賞(二六・一、36・1) 1
- 日本文学ざっくばらん(万葉集) — 私の大好きな額田女王— 小島政二郎 解説と鑑賞(二六・一、36・1) 2
- 万葉集をどう扱うか(古典乙Ⅱ・古文) 江野沢淑子 国文学(二六・一、36・1) 5
- 万葉夜話・其二 森本治吉 白路(二六・一、36・1) 4
- 日本文学ざっくばらん(万葉集) — 寸感— 三好達治 解説と鑑賞(二六・一、36・2) 1
- 日本文学ざっくばらん(万葉集) — 俗語— 解俗の解— 西脇順三郎 解説と鑑賞(二六・二、36・2) 1
- 日本文学ざっくばらん(万葉集) — 素朴と爛熟— 福原麟太郎 解説と鑑賞(二六・二、36・2) 1
- 日本文学ざっくばらん(万葉集) — 「ひなぶり」の面白さ— 手塚富雄 解説と鑑賞(二六・二、36・2) 1
- 日本文学ざっくばらん(万葉集) — 解説— 小島政二郎他 解説と鑑賞(二六・二、36・2) 3
- 日本文学ざっくばらん(万葉集) — 分からないことだらけ— 小島政二郎 解説と鑑賞(二六・二、36・2) 2
- 万葉集参考古辞書類について 馬淵和夫 解説と鑑賞(二六・二、36・2) 6
- 万葉集の注釈書 佐伯梅友 解説と鑑賞(二六・二、36・2) 6
- 万葉夜話・其三 森本治吉 白路(二六・二、36・2) 3
- 昭和三五年年度国語国文学界の展望— 上代文学— 大久保 正 文学・語学(二六・二、36・2) 3
- 万葉夜話 其四 森本治吉 白路(二六・二、36・2) 3
- 雲居に見ゆる粟島の 伊丹末雄 美夫君志(二六・二、36・2) 2
- 白鳳万葉ということ 徳光久也 美夫君志(二六・二、36・2) 2
- 「宇能花乃五月乎待者」 沢瀉久孝 美夫君志(二六・二、36・2) 2
- (三、36・3) 1
- 万葉集せんさく(一) 後藤興善 明日香(三、34・4) 3
- 万葉夜話 其五 森本治吉 白路(二六・二、36・2) 3
- 国語学習指導の方法と技術— 万葉集— 橘 誠 解説と鑑賞(二六・二、36・9) 3
- 万葉夜話 其六 森本治吉 白路(二六・二、36・9) 2
- 万葉夜話 其七 森本治吉 白路(二六・二、36・11) 3
- 万葉夜話 其八 森本治吉 白路(二七・一、37・1) 3
- 上代関係雑誌論文目録— 昭和三六年一月— 一月— 万葉(四、37・1) 5
- 刊行半ばに達して 沢瀉久孝 万葉集注釈巻第十附録(37・1) 2
- 真幸くて 大浜巖比古 万葉集注釈巻十附録(37・1) 3
- 録飛鳥路を訪ねて 奥田利彦 論究日本文学(二七、37・3) 1
- 昭和三十六年度国語国文学界の展望— 上代文学— 荻原浅男 文学・語学(三、37・3) 7
- 文学散歩「万葉集肩引の碑」 立正大学国語国文(三、37・3) 1
- 学界展望— 上代— 賀古 明 解説と鑑賞(三、31・4) 3

研究年表 鎌田純一 古事記年報(六)、37・5)

2

古事記撰上千年二百年への回顧 藤井信男

古事記年報(六)、37・5) 2

感想 大野 晋 日本古典文学大系月報(元、

37・5) 2

校注を終って 五味智英 日本古典文学大系

月報(元、37・5) 3

万葉集と私―高木市之助君へのご報告―

大内兵衛 日本古典文学大系月報(元、37・

5) 2

学界展望―古代― 賀古 明 解釈と鑑賞

(二七・五、37・6) 3

学界展望―上代― 賀古 明 解釈と鑑賞

(二七・〇、37・9) 2

楽屋ばなし(一一) 沢潟久孝 万葉集注釈巻

第一附録(37・9) 1

錯覚と作品 谷山 茂 万葉集注釈巻一一附

録(37・9) 3

正述心緒と東歌 入江相政 万葉集注釈巻第

一一附録(37・9) 2

「粟田津に」の「に」 五味保義 アララギ

(五・〇、37・10) 2

春日政治博士万葉集関係論文目録 万葉(四、

37・10) 2

上代関係雑誌論文目録―昭和三十六年一〇月―

昭和三七三月― 万葉(四、37・10) 5

学界展望―古代― 賀古 明 解釈と鑑賞

(二七・三、37・11) 4

大和飛鳥を巡りて 露木悟義 上代文学会会

報(三、37・11) 7

学界展望―古代― 戸谷高明 解釈と鑑賞

(二七・四、37・12) 3

学界展望―古代― 戸谷高明 解釈と鑑賞

(二六・三、38・2) 3

昭和三十七年度国語国文学界の展望―上代文学

― 中西 進 文学・語学(二七、38・3) 7

万葉集中上野国の歌私感 佐藤敏彦 成城万

葉(一、38・3) 5

学界展望―古代― 戸谷高明 解釈と鑑賞

(二六・五、38・4) 3

学界展望―古代― 戸谷高明 解釈と鑑賞

(二六・七、38・6) 2

最近における万葉集研究の展望 中西 進

国文学(八七、38・7) 3

学界展望―古代― 戸谷高明 解釈と鑑賞

(二六・〇、38・8) 3

学界展望―古代― 戸谷高明 解釈と鑑賞

(二六・三、38・10) 3

学界展望―上代― 井手 至 解釈と鑑賞

(二六・六、39・2) 3

昭和三十八年度国語国文学界の展望―上代文学

― 鶴殿正元 文学・語学(三、39・3) 5

学界展望―上代― 井手 至 解釈と鑑賞

(二六・四、39・4) 2

時代・ジャンルにおける未開拓の分野・盲点・

問題点―上代(和歌・歌謡)― 久松潜一

解釈と鑑賞(元六、39・6) 4

主要作家・作品研究の今後の狙いどころ―

万葉集― 森本治吉 解釈と鑑賞(元六

39・6) 4

資料・参考文献のさがし方・用い方―上代―

中西 進 解釈と鑑賞(元六、39・6) 3

学界展望―上代― 井手 至 解釈と鑑賞

(二六・六、39・8) 3

学界展望―上代― 井手 至 解釈と鑑賞

(二六・三、39・11) 4

万葉架橋(第二回) 高木市之助 短歌研究

(二〇・一、38・1) 8

万葉架橋(第二回)―人麿の実力 高木市之助

短歌研究(二〇・二、38・2) 7

万葉架橋(第三回)―赤人の創造力―

高木市之助 短歌研究(二〇・三、38・3) 7

万葉架橋(第四回)―つばき談義―

高木市之助 短歌研究(二〇・四、38・4) 8

万葉架橋(第五回)―女人の橋(大内兵衛君

への御礼) 高木市之助 短歌研究(二〇・五

38・5) 8

万葉架橋(第六回)―万葉の酒を語る―

高木市之助 短歌研究(二〇・七、38・7) 7

万葉架橋(第七回)―酒を語り続ける―

- 高木市之助 短歌研究(三〇六、38・8) 6
 万葉架橋(第八回)―水―高木市之助
 短歌研究(三〇六、38・9) 6
 万葉架橋(第九回)―難工事―
 高木市之助 短歌研究(三〇〇、38・10) 7
 万葉架橋(第一〇回)―ほうみ橋―
 高木市之助 短歌研究(三〇二、38・11) 4
 雑草万葉―プロローグ―高木市之助 短歌
 研究(三二一、39・1) 4
 雑草万葉―雑草歌人意吉麻呂―高木市之助
 短歌研究(三二二、39・2) 6
 雑草万葉―民謡の前方きとうしろ向き―
 高木市之助 短歌研究(三三三、39・3) 7
 雑草万葉―手児名問答―高木市之助 短歌
 研究(三四四、39・4) 6
 雑草万葉―防人歌と防人の歌―高木市之助
 短歌研究(三五五、39・5) 7
 雑草万葉―さくらの万葉的位相―高木市之助
 短歌研究(三五六、39・6) 7
 雑草万葉―無常―高木市之助 短歌研究
 (三二七、39・7) 6
 雑草万葉―贈答歌に御用心―高木市之助
 短歌研究(三三八、39・8) 6
 雑草万葉―大量の万葉七夕歌を雑草として処
 理する弁―高木市之助 短歌研究(三三
 〇、39・10) 6
 雑草万葉―山草を求めて―高木市之助 短
 歌研究(三二六、39・11) 6
 万葉集特講(一)―十市皇女考―
 市村 宏 次元(七七、36・7) 2
 万葉集特講(二)―石川郎女考―
 市村 宏 次元(七六、36・8) 4
 万葉集特講(三)―讀酒歌考―
 市村 宏 次元(七六、36・9) 3
 万葉集特講(四)―つくしのわた―
 市村 宏 次元(七〇、36・10) 2
 万葉集特講(五)―山上憶良の歌論―
 市村 宏 次元(七二、36・11) 3
 万葉集特講(六)―紫野悲歌の序曲―
 市村 宏 次元(七三、36・12) 3
 万葉集特講(七)―柿本人麿とその終焉―
 市村 宏 次元(八二、37・1) 3
 万葉集特講(八)―いわゆる戲書義訓―
 市村 宏 次元(八三、37・2) 3
 万葉集特講(九)―衣干したり―
 市村 宏 次元(八三、37・3) 3
 万葉集特講(一〇)―間夜―
 市村 宏 次元(八四、37・4) 2
 万葉集特講(一一)―兎手柏の両面―
 市村 宏 次元(八五、37・5) 2
 万葉集特講(一二)―平群朝臣と穂積朝臣―
 市村 宏 次元(八六、37・6) 3
 万葉集特講(一三)―流人文学―
 市村 宏 次元(八七、37・7) 4
 万葉集特講(一四)―葛飾早稲―
 市村 宏 次元(八八、37・8) 2
 万葉集特講(一五)―七車―
 市村 宏 次元(八六、37・9) 2
 万葉集特講(一六)―戲書義訓―
 市村 宏 次元(八〇、37・10) 3
 万葉集特講(一七)―玉―
 市村 宏 次元(八二、37・11) 3
 万葉集特講(一八)―神の花嫁―
 市村 宏 次元(八三、37・12) 3
 万葉集特講(一九)―余明軍の歌―
 市村 宏 次元(九一、38・1) 3
 万葉集特講(二〇)―万葉の風―
 市村 宏 次元(九二、38・2) 3
 万葉集特講(二一)―射布折考―
 市村 宏 次元(九三、38・3) 3
 万葉集特講(二二)―橘の寺長屋―
 市村 宏 次元(九四、38・4) 3
 万葉集特講(二三)―二上山考―
 市村 宏 次元(九五、38・5) 3
 万葉集特講(二四)―古今の「月」―
 市村 宏 次元(九六、38・6) 3
 万葉集特講(二五)―打油考―
 市村 宏 次元(九七、38・7) 3
 万葉集特講(二六)―万葉の霧―
 市村 宏 次元(九八、38・8) 3
 万葉集特講(二七)―橋の蔭踏む路―

- 市村 宏 次元 (九・九、38・9) 3
 万葉集特講(二七)―斎種―
- 市村 宏 次元 (九・〇、38・10) 3
 万葉集特講(二八)―於可美考―
- 市村 宏 次元 (九・二、38・11) 3
 万葉集特講(二九)―味葉乎水爾醜成ツキハヤミツニウツルシ―
- 市村 宏 次元 (九・三、38・12) 3
 万葉集特講(三〇)―畝火山は男か女か―
- 市村 宏 次元 (二〇・一、39・1) 3
 万葉集特講(三一)―紫―
- 市村 宏 次元 (二〇・二、39・2) 3
 万葉集特講(三二)―黒髪之歌―
- 市村 宏 次元 (二〇・三、39・3) 2
 万葉集特講(三三)―来む世には逢はむ―
- 市村 宏 次元 (二〇・五、39・5) 3
 万葉集特講(三四)―長屋王―
- 市村 宏 次元 (二〇・六、39・6) 2
 万葉集特講(三五)―「高砂」と万葉集―
- 市村 宏 次元 (二〇・七、39・7) 3
 万葉集特講(三六)―万葉集と風雅―
- 市村 宏 次元 (二〇・八、39・8) 2
 万葉集特講(三七)―末珠名(むすのたまな)―
- 市村 宏 次元 (二〇・九、39・9) 2
 万葉集特講(三八)―蜃気楼の歌―
- 市村 宏 次元 (二〇・二、39・10) 3
 万葉集特講(三九)―大伴旅人の晩年―
- 市村 宏 次元 (二〇・二、39・11) 2
 万葉集特講(四〇)―大伴淡等謹状考―
- 市村 宏 次元 (二〇・三、39・12) 3
 万葉散步1 松田好夫 武都紀 (一八・三、32・3) 2
 万葉散步2 松田好夫 武都紀 (一八・四、32・3) 3
 万葉散步3 松田好夫 武都紀 (一八・五、32・4) 2
 万葉散步4 松田好夫 武都紀 (一八・六、32・5) 2
 万葉散步5 松田好夫 武都紀 (一八・七、32・6) 2
 万葉散步6 松田好夫 武都紀 (一八・八、32・7) 2
 万葉散步7 松田好夫 武都紀 (一八・九、32・8) 2
 万葉散步8 松田好夫 武都紀 (一八・一〇、32・9) 2
 万葉散步9 松田好夫 武都紀 (一八・一一、32・10) 3
 万葉散步10 松田好夫 武都紀 (一八・一二、32・11) 3
 万葉散步11 松田好夫 武都紀 (一九・一、33・1) 4
 万葉散步12 松田好夫 武都紀 (一九・二、33・2) 2
 万葉散步13 松田好夫 武都紀 (一九・三、33・3) 3
 万葉散步14 松田好夫 武都紀 (一九・四、33・4) 3
 万葉散步15 松田好夫 武都紀 (一九・五、33・5) 5
 万葉散步16 松田好夫 武都紀 (一九・六、33・6) 3
 万葉散步17 松田好夫 武都紀 (一九・七、33・7) 4
 万葉散步18 松田好夫 武都紀 (一九・八、33・8) 3
 万葉散步19 松田好夫 武都紀 (一九・九、33・9) 3
 万葉散步20 松田好夫 武都紀 (一九・一〇、33・10) 3
 万葉散步21 松田好夫 武都紀 (一九・一一、33・11) 3
 万葉散步22―入麿反歌の形成過程― 松田好

- 夫 武都紀(一九・三、三三・12) 2
 万葉散步23―豊旗雲― 松田好夫 武都紀
 (二〇・一、34・1) 3
 万葉散步24―みちのく山― 松田好夫 武都
 紀(二〇・二、34・2) 4
 万葉散步25―万葉大― 松田好夫 武都紀
 (二〇・三、34・3) 3
 万葉散步26―明日香風― 松田好夫 武都紀
 (二〇・四、34・4) 3
 万葉散步27―東歌三首― 松田好夫 武都紀
 (二〇・五、34・5) 3
 万葉散步28―棚無し小舟― 松田好夫 武都
 紀(二〇・六、34・6) 2
 万葉散步29―東海製鉄と万葉遺跡―
 松田好夫 武都紀(二〇・七、34・7) 3
 万葉散步30 松田好夫 武都紀(二〇・八、34・
 8) 3
 万葉散步31 松田好夫 武都紀(二〇・九、34・
 9) 3
 万葉散步32―美夫君志会回顧― 松田好夫
 武都紀(二〇・10、34・10) 3
 万葉散步33―伊勢湾の歌― 松田好夫 武都
 紀(二〇・11、34・11) 2
 万葉散步34―問答歌― 松田好夫 武都紀
 (二〇・12、34・12) 3
 万葉散步35―武都紀― 松田好夫 武都紀
 (二一・一、35・1) 2
 万葉散步36―梅に鶯― 松田好夫 武都紀
 (二一・二、35・2) 2
 万葉散步37―鶴鳴き渡る― 松田好夫 武都
 紀(二一・三、35・3) 2
 万葉散步38―蒲生野― 松田好夫 武都紀
 (二一・四、35・4) 3
 万葉散步39―万葉出版― 松田好夫 武都紀
 (二一・五、35・5) 2
 万葉散步40―夢のあい― 松田好夫 武都紀
 (二一・六、35・6) 3
 万葉散步41―赤人集― 松田好夫 武都紀(二一・
 七、35・8) 2
 万葉散步42―漢訳万葉集選― 松田好夫
 武都紀(二一・八、35・9) 4
 万葉散步43―アユの歌― 松田好夫 武都紀
 (二一・九、35・10) 4
 万葉散步44―熱田津に船乗りせむと―
 松田好夫 武都紀(二一・10、36・10) 2
 万葉散步45―養老― 松田好夫 武都紀(二一・
 11、37・1) 2
 万葉散步46―賀状の中から― 松田好夫
 武都紀(二一・12、37・2) 2
 万葉散步47―「高松」と「高円」― 松田好夫
 武都紀(二一・13、37・3) 2
 万葉散步48―三つの「引馬野」― 松田好夫
 武都紀(二一・14、37・4) 3
 万葉散步49―吉野離宮― 松田好夫 武都紀
 (二一・15、37・5) 3
 万葉散步50―吉野離宮二― 松田好夫 武都
 紀(二一・16、37・6) 3
 万葉散步51―吉野離宮三― 松田好夫 武都
 紀(二一・17、37・7) 3
 万葉散步52―吉野離宮四― 松田好夫 武都
 紀(二一・18、37・8) 3
 万葉散步53―吉野離宮五― 松田好夫 武都
 紀(二一・19、37・9) 3
 万葉散步54―吉野離宮六― 松田好夫 武都
 紀(二一・20、37・10) 3